

会 議 摘 録

会議名称	御幸公園 ^{うめかおろ} 梅香事業第5回推進会議
日 時	平成28年5月25日(水) 15:30～17:00
会 場	幸区役所4階第3会義室
出席者	<p>【委員】</p> <p>上野区長(委員長)、道路公園センター 吉濱所長(副委員長)</p> <p>金井委員、佐野委員、佐藤委員、神谷委員、深瀬委員、君和田委員、永田委員 服部委員</p> <p>【関係者】</p> <p>総務課 吉原係長、原田職員</p> <p>【事務局】</p> <p>道路公園センター 管理課 笠原係長、藤間主任、長谷川職員 整備課 箕輪担当課長、田中係長、山下職員、安達職員</p>
欠席者	鏑木委員、高木委員
傍聴者	5人
配布資料	<p>議事次第</p> <p>資料1 梅の整備方針(案)について</p> <p>資料2 梅の維持管理について</p> <p>資料3 「御幸地区の歴史・文化」講演会について</p> <p>資料4 御幸公園梅香事業に関する寄附について</p> <p>資料5 「御幸公園梅香事業推進計画」について(案)</p> <p>参考資料1 御幸公園梅香事業実施要綱</p> <p>参考資料2 御幸公園梅香事業推進会議設置要綱</p> <p>参考資料3 「御幸公園梅香事業」推進会議名簿</p> <p>参考資料4 平成28年度御幸公園梅香事業実施計画(案)</p> <p>参考資料5 計画期間の主な取組(案) H27～H36</p> <p>参考資料6 御幸公園梅香事業第4回推進会議摘録</p>
議 題	<p>(1) 梅の整備方針(案)について</p> <p>(2) 梅の維持管理について</p> <p>(3) 「御幸地区の歴史・文化」講演会について</p> <p>(4) 御幸公園梅香事業に関する寄附について</p> <p>(5) 「御幸公園梅香事業推進計画」について</p> <p>(6) 次回推進会議の開催について</p>
決定事項	◎「御幸地区の歴史・文化」講演会を11月8日(火)と12月6日(火)に開催する。

	◎次回会議は、第一候補 8 月 25 日(木)、第二候補 8 月 23 日(火)に開催する。時間は 15 時半からとする。
会議の内容 及び 主な発言	<p>1 開会</p> <p>○紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古市場小学校の水谷教頭が異動されたため、今回より西御幸小学校の高木校長に委員をお願いすることとなった。 ・事務局から、1 人ずつ自己紹介を行った。 <p>○委員長あいさつ</p> <p>梅香事業推進会議は、昨年度からスタートし、視察を含めてこれまで 4 回開催した。今年度は「梅香事業推進計画」を策定したいと考えている。推進計画は市政 100 周年となる平成 36 年度までの今後約 10 年間における目標となるため、大切な一年となる。忌憚のないご意見を頂きたい。この事業が区民に浸透するよう願っている。ぜひ御協力御支援をよろしく願いたい。</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 梅の整備方針(案)について</p> <p>資料 1 について、事務局から説明を行った。</p> <p>ア 梅の配置について</p> <p>○混植のデメリットはなにか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ←かつての小向梅林をイメージしにくい。 <p>○実の収穫のためには、混植の方が効率は良いのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ←花梅、実梅のみでも何種類もあるため、別々でも問題ない。 <p>○実梅を収穫することを考えると、実梅と花梅を分けたほうが良いのではないか。</p> <p>○一定程度、同じ品種を集めた場所を作ったほうが良いのではないか。</p> <p>○長い期間楽しめるように、混植していたほうが良いのではないか。</p> <p>○混植の方が、人が多く集まる時期には人が散らばって良いのではないか。</p> <p>⇒実梅・花梅を分けて植えるか、混植とするかは意見が分かれたため、皆様の意見を参考にして事務局案を作成し、次回再提案することとなった。</p> <p>イ 植栽地の設えについて</p> <p>○散策することを考えると散策路があったほうが良いのではないか。</p> <p>○梅はデリケートなので根に影響を与えないように、柵があったほうが良いのではないか。</p> <p>○ベンチの配置によっては、人が通る場所を誘導出来るので柵はいらないのではないか。</p> <p>○多摩川管理事務所予定地とあるがこれはなにか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ←現在は等々力緑地内にあるが、等々力緑地整備の関係で御幸公園へ移転する予

定である。15名ほどの職員がおり、作業員もいることから、除草などの陳情に対応出来ることが期待される。

○御幸球場のフェンスが低く危険なのは。

←3塁側については整備計画があり、現在取り組んでいる。

⇒柵を設けたほうが良いとの意見が多数だったことから、柵等を設ける方向とする。

ウ 植栽間隔について

○本数が多い方が楽しめるのでは。

○広い方が根を踏むことがないのでは。

○実をならせるには、梅の木は大きくなるから間隔が広い方が良い。

⇒本数についても意見が分かれたため。皆様の意見を参考にして、最終的には事務局が決定させていただく。

(2) 梅の維持管理について

梅の実の収穫のために必要と考えられる維持管理作業について、事務局から資料2により説明を行った。収穫や、イベントとして受粉、簡易的な剪定など市民の方にお願ひしたいと考えている。

○資料では、摘果が4月頃のみとなっているが、花を摘む作業もある。

○除草をすれば御幸球場を優先的に使えるなどの特典をつけることが出来れば、人が集まりやすくなるのではないか。

○多摩川美化活動のなかで除草はできないか。

←どういうメンバーにやってもらうか、道具など検討する必要がある。

←芝の間に生えてくる雑草を抜いてくれると非常に助かるので、検討の余地があると考えられる。

(3) 「御幸地区の歴史・文化」講演会について

資料3について、事務局から説明を行った。

○土日は忙しいため、平日の方が良い。

11月8日(火)と12月6日(火)に開催することとなった。

(4) 御幸公園梅香事業に関する寄附について

資料4について、総務課職員から説明を行った。

○プレート式は盗難や破損が懸念される。

○梅の木一本一本にプレートを付けると寄附金額が高額になり、寄附してくれる人が限られてしまう。気持ちがある人が簡単に出せなくなってしまう。

←小さい金額から大きい金額まで受け入れる方向で考えていく。

○実梅を花梅で区別はあるのか

←プレートの種類を区別することは考えていない。梅の木の値段は品種により異なるが、実梅と花梅では金額に大きな差はない。

○地域の中で梅林を育てていく趣旨からすると、木に個人の名前があることに違和感を覚える人がいるのではないか。

(5) 「御幸公園梅香事業推進計画」について

資料5について、事務局から説明を行った。

次回の推進会議で梅香事業実施計画の素案を提示するため、6月中旬までに意見を頂きたい。

(6) 次回推進会議の開催について

次回会議は、第一候補 8月25日(木)、第二候補 8月23日(火)に行う。

時間は15時30分からとする。

3 閉会

○副委員長あいさつ

今年度から推進会議で決定したことを実行していく年となります。スピード感を持って取り組んでいきたいので御協力よろしく申し上げます。本日はありがとうございました。

以上